

第16回青梅市中心市街地活性化協議会 会議録

日 時 平成30年10月23日(水) 13:30～14:30

会 場 青梅商工会議所 特別会議室

1. 開会挨拶 小澤会長

2. 確認事項

- (1) 資料の確認
- (2) 定足数の確認
- (3) 前回会議録について

3. 報告事項

- (1) 各事業の進捗状況
 - ①青梅市・・・資料1
 - ②(株)まちづくり青梅・・・資料2
 - ③交通事業者
 - ④青梅駅前地区市街地再開発準備組合
 - ⑤青梅宿 津雲邸・・・資料3
 - ⑥その他・・・資料4
- (2) タウンマネージャー報告・・・資料5
- (3) 青梅市中心市街地活性化基本計画(変更案)について・・・資料6

4. 協議事項

- (1) 青梅市中心市街地活性化基本計画(変更案)に対する意見書(案)について・・・資料7

5. その他

- ・次回開催日 平成31年4月予定

6. 閉会挨拶 池田副会長

(配布資料)

- ・名簿
- ・前回議事録
- ・平成29年度フォローアップ報告(資料1)
- ・(株)まちづくり青梅報告(資料2)
- ・青梅宿 津雲邸「幕末維新の群像」(資料3)
- ・事務局報告(資料4)
- ・タウンマネージャー報告(資料5)
- ・青梅市中心市街地活性化基本計画の変更一覧表及び新旧対照表(資料6)
- ・「青梅市中心市街地活性化基本計画(変更案)」に対する意見書(案)(資料7)

司会	<p>定刻になりましたので、第16回青梅市中心市街地活性化協議会を始めさせていただきます。初めに委員に変更がありますので、ご報告させていただきます。</p> <p>青梅市商店会連合会 合崎会長 → 久保会長 JR 青梅駅長 三宮駅長 → 宮沢駅長 第1支会 山崎支会長 → 浅見支会長</p> <p>なお、青梅市商店会連合会会長には、当協議会の監事も協議会監事</p> <p>では開催にあたり小澤会長よりご挨拶をいただきます。</p>
会長	<p>皆さん、こんにちは。お忙しいなか、お集まりいただきありがとうございます。ここで、アドベンチャーラインという、青梅線に名前が付きまして。名前が付いた事で個性が特定され、1つの独立した存在として生まれました。青梅市中心市街地活性化協議会も名前が付いた事で、1つの動きとして現在に至っています。しかしながら、まだやらなければいけない事もありますし、僅かながらに見えてきた光を更に大きな光として灯せるようにしていきたいと思っておりますので、引き続き皆様のご協力をお願いします。</p>
司会	<p>ありがとうございます。なお議事進行については、小澤会長にお願いをしたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
議長	<p>では確認事項について、事務局より報告をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは確認事項についてご報告します。まず、配布資料のご確認をさせていただきます。</p> <p>—資料の確認—</p> <p>資料漏れ等はありませんか。続きまして、定足数の確認をさせていただきます。本日の出席状況ですが、定数34名に対し出席者17名、委任状出席13名、合計30名となっております。協議会規約第12条第2項によりまして、委員の過半数の出席をもって本協議会は成立となります。本日の出席者数は30名ですので、本協議会は成立することを報告します。次に前回会議録についてですが、本来であれば事前にお送りするべきでございますが、本日の配布となり申し訳ありません。前回の協議事項としては、平成29年度の事業及び収支決算報告、平成30年度の事業計画及び収支予算、平成29年度の取り組みについてご協議いただきました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは報告事項に移ります。各事業の進捗状況について、まずは青梅市よりご報告をお願いします。</p>
青梅市	<p>今年5月にまとめた中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告にもとづき、主要事業の進捗状況等について概要を説明いたします。このフォローアップに関する報告は、取組事業等の進捗状況や目標達成状況等について、自己評価し、その結果を内閣府へ報告するものです。合わせて市のホームページでも公開しています。はじめに「I.</p>

中心市街地全体に係る評価」の「1. 平成29年度終了時点（平成30年3月31日時点）の中心市街地の概況」です。ここでは、「基本計画」を推進していく上での考え方や中心市街地の歴史的背景ならびに現状について説明しています。次に、「2. 平成29年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見」です。平成30年4月11月に開催された協議会での意見をまとめ、記載しています。意見としては、「事業の一定の成果について評価をいただきつつ、引き続き各事業の着実な進捗を図るようお願いする」としています。次に「Ⅱ、目標毎のフォローアップ結果」の「1. 目標達成の見通し」です。認定基本計画で掲げられた3つの目標指標の数値と達成の見通しについて、まとめています。はじめに、街なか居住の促進です。目標指標である「居住人口」については、最新値が、5,098人で、基準値から101人減、平成33年度末の目標値を173人下回っていますが、今回の見通しとして「取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。」としています。次に、経済活力の向上です。目標指標である「新規出店数」については、最新値は平成28年度からの累計で29件、年間平均14.5件であります。今回の見通しとして「取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。」としています。次に、回遊性の向上です。目標指標である「観光案内所来所者数」については、最新値が1日あたり89.0人で、基準値から約18人上回っています。目標値を約5人下回っていますが、今回の見通しとして「取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。」としています。次に「2. 目標達成見通しの理由」です。「居住人口」については、これまでの人口推移のトレンドから、最新値においても減少したが、現在、民間により進められている青梅駅前地区市街地再開発事業において、75戸の住宅整備が想定されること、またアキヤ不動産事業の運営を開始し居住環境の充実を図ることで目標達成可能であると見込まれるとしています。「新規出店数」については、アキテナポ不動産事業やおうめ創業支援センターとの連携などの相乗効果により、目標達成可能であると見込まれるとしています。「観光案内所来所者数」については、今後、中心市街地で開かれるイベントと連携するとともに、観光客のニーズを把握し、施設改修やイベント企画等の事業に反映することにより、目標達成可能であると見込まれるとしています。次に「3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由」です。こちらは、「前回フォローアップの実施から変更ない」としています。次に「4. 目標指標毎のフォローアップ結果」です。一つ目の目標指標「居住人口」の調査結果の推移をまとめています。目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果ですが、「①. 青梅駅前地区市街地再開発事業」については、当初の計画より遅れているが、今年度中の都市計画決定を予定しており、事業完了により、164人の居住人口の増加を見込んでいます。目標達成の見通し及び今後の対策としては、再開発事業のほか、「マルシェ事業」や「アキヤ不動産事業」などを総合的に実施することで、目標達成に向けて取り組んでいくものとしております。なお、「⑤. 新生涯学習施設（仮称）整備事業」については、フォローアップでは平成29年度は解体工事を実施となっておりますが、事業は順調に推移しており、平成31年4月中旬頃に落成式を開催し、5月ゴールデンウィーク明けから全館貸出ができるようになる予定です。二つ目の目標指標「新規出店数」の調査結果の推移です。目標達成に寄与する主要事

	<p>業の進捗状況及び事業効果として、平成29年度は、中心市街地内での新規出店数は全部で11件でした。そのうち株式会社まちづくり青梅による「アキテンポ不動産」による出店数は3件でした。目標達成の見通し及び今後の対策として、主要事業は概ね順調に進捗しており、目標達成は可能と思われるとし、引き続き、日常生活に必要な商業店舗と個性のある魅力的な店舗の充実を図り、商業地としてのまちの魅力を高めることで、さらに実績を伸ばすよう取り組むものとしています。三つ目の目標指標「観光案内所来所者数」です。目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果として、青梅市立郷土博物館および青梅市立美術館における企画展等の開催状況と、津雲邸再整備による交流拠点事業の状況等を記載しています。目標達成の見通し及び今後の対策として、主要事業は概ね順調に進捗しているため、目標達成は可能と思われるとし、青梅シネマ事業や織物等の地域資源をテーマとしたにぎわい創出イベントの実施など、まちの魅力を発信するソフト事業を推進するとしています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ただ今のご説明に対しましてご意見ご質問等はございますか。</p>
オブザーバー	<p>よろしいでしょうか。ご説明いただいた内容は今年の春に報告済との事なので、来年度の報告に追加していただきたいのですが、駅前のアキテンポギャラリーに授乳室を設置しましたので、空き店舗を活用した子育て支援施設の運営事業の実績として加えてください。また、織物工業協同組合に関する進捗ですが、組合に問合せ頂ければ、実績を確認する事が出来ます。青梅市が作成している資料なので、青梅市が関わる事業は具他的に報告がされているのですが、それ以外にも事業効果が出ていると示すためにも実績の記載をお願いします。それから今年の春から本格化しているのですが、フランス人写真家が青梅の街なかのドキュメンタリー映画を撮影する、OMECITTA（オウメチッタ）プロジェクトがあります。新生涯学習施設が竣工した際には市民の方々と上映会をやるとういった声も出ており、映画祭事業としていく事も考えられますので、そういった事も効果として反映させていただければと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。上手にピックアップしていただき、報告、PRなどしていただければと思います。他にございませんか。よろしければ、各事業の進捗状況について、(株)まちづくり青梅の報告をお願いします。</p>
委員	<p>(株)まちづくり青梅の報告をさせていただきます。まず、まちづくり青梅の事務所ですが、今まで青梅商工会議所に設置していましたが、仲通りにある以前は三枝歯科医院であった建物に移転しました。まちなかに拠点を移したという事で、更なる活性化事業の推進に努めていければと考えています。なおその建物では、ブックカフェ等を行う「青梅時間」という新規事業を行います。この青梅時間の詳細については、後程タウンマネージャーよりご報告しますので、ここでは割愛させていただきます。なお、4月29日にはこの青梅時間のお披露目会を行いますので、ご都合のつく方はご出席いただければと思います。それから駐車場事業ですが、住江町駐車場の北側がキネマ通り拡幅の代替地になっており、一部市へ返還した事から駐車台数が4台減少していいいます。本町と駅前駐車場ですが、利用台</p>

	<p>数とそれに伴う駐車場料収入の減少が続いていたので、安定した収入が見込めるよう運用の見直しを行いました。変更から1ヶ月しか経過しておらずはっきりとした効果は確認できていませんが、状況は改善しているように感じています。次におうめマルシェです。先程報告しました通り、会場である住江町駐車場の北側が狭くなったので、レイアウトを工夫しながら進めています。また、昨年は8月開催分を街なかビアガーデンとして開催しましたが、今年は暑さが厳しい事もあり、7月から10月までは街なかビアガーデンとして時間を変更し開催しました。特に10月は昨年、市役所で開催されたオクトーバーフェストより名称を引き継ぎ、ビアガーデンを開催しました。次にアキテンポ不動産事業です。7月13日から15日に見学会を実施し、17名の参加がありました。なお新規開店状況などはタウンマネージャー報告にてご報告します。</p>
議長	<p>ありがとうございました。次に交通事業者よりJRのご報告をお願いします。</p>
委員	<p>東京アドベンチャーラインについて、先月14日にプレス発表をし、今月13日には出発式を開催させていただきました。新たに八王子支社長に就任した支社長が、八王子支社管内の観光といえば青梅、奥多摩間と山梨の2方面であろう。何もしないでお客様に来ていただける状況ではないので、色々と宣伝を仕掛けていこうという事で、支社で検討を行い、名称を付けようとなり、東京アドベンチャーラインという名称を付けました。冒頭の会長のご挨拶にもありましたが、名称を付ける事で愛着を持っていただくと共に、東京都内でありながら青梅、奥多摩間には自然が豊富にありますので、そういった部分でお客様にご利用いただければと思っています。名称を付けておしまいという事ではなく、直近でいえばこれから紅葉の季節を迎えますので、多くのお客様に来ていただけるようPRを行っていく予定ですし、「青梅・奥多摩もみじ協定」とも連携し、青梅だけ御岳だけではなく時期もずれる事から点では無く線で来ていただけるように考えています。その後の12月、1月、2月は厳しい時期に入りますが、SNSの活用や新たな観光資源の掘り起しなどを検討しており、そういったものを通じて年間通してお客様に来ていただけるようにする必要がありますと考えています。またそうなれば、地域の活性化にも繋がってくると思えますし、JRとしてもお客様の利用数で運行本数を定める事から、現状の本数の維持、増やす事も可能になってくると考えています。また、ハードルは高いですが、ゆくゆくは青梅、奥多摩間専用の観光列車なども運行できればとも考えていますので、引き続きよろしくお願いします。最後に東京アドベンチャーラインのPRです。立川駅をご利用いただいた方はご存じかもしれませんが、立川駅の2番線ホームはアドベンチャーラインの広告で全て埋っています。時刻表も携帯やLED表示の普及もあってご覧になる方が減っているので、4枚のうち1枚を残し、残りはアドベンチャーラインのPRにしています。またラッピング電車の車掌は、車内のアナウンスにおいてPRなども行っています。</p>
オブザーバー	<p>街なかビアガーデンにおいては、周知協力ありがとうございました。12時から20時まで開催したのですが、12時の時点で満席状態となり多くの方にご来場いただけました。毎月、マルシェやビアガーデンを実施していますが、もっと企画に個性を出して行って、</p>

	なるべくJRさんにご協力いただける形で行えればと考えていますので、今後ともよしくお願いします。
議長	JRさんが名前を付けてくださった事は大変ありがたい事ですが、これだけで終わらせないようするには、ここにいる皆様と青梅、奥多摩の住民の努力によると思います。JRさんの取り組みに応える為にも、引き続きよろしくお願いします。では、次に京王自動車よりご報告をお願いします。
委員	青梅市のタクシーのご利用状況についてご報告させていただきます。今年9月までの1日の売上平均ですが、前年と比較すると0.9%伸びています。また乗車回数も28.5回で、前年と比較し0.6回増えています。僅かながらですが増えた理由ですが、タクシーは天候の影響を受けるのですが、夏の猛暑が一番の要因と考えています。またタクシーはお迎えも行っていますが、9月単月ですと昼間は10%伸びていますが、夜間は2%減少しており、夜間の利用は少なくなっています。なお、お迎えは10%伸びているものの売上は変わっていないので、駅からの乗車は減っている事が伺え知れます。青梅市はこのような状況であったのですが、福生の営業所でみると5.5%増加しており、また多摩地域で見ても3から5%増えているところがほとんどで、青梅市は厳しい状況にあると感じています。
議長	増えているのは、インバウンドの影響でしょうか。
委員	あまり影響は無いと感じています。やはり、天候による要因が大きいと感じています。
議長	ありがとうございます。交通事業者よりご報告をいただきましたが、質問等はございますか。では次に、青梅駅前地区市街地再開発準備組合よりご報告をお願いします。
委員	準備組合としては、前年度より都市計画提案をまとめ青梅市に提案する事が目標となっていました。7月3日に都市計画提案書と地区計画提案書を青梅市へ提出する事ができました。これを受け、青梅市では都市計画審議会を設置し本提案について検討していただいています。既に7月と10月に開催いただいているようで、来年の3月には都市計画提案が採択されると見込んでいます。組合としては、都市計画提案と地区計画提案をして終わりではなく、現在も新しく建設するビルの商業床の検討と、2階には公共施設に入っていたらとの事ですので、階段などの上下の接続などの検討を行っています。
議長	ありがとうございます。ご質問等はございますか。皆さん興味のある事業であると思いますが、もう少し具体的になってから皆さんからのご質問が出て来ると思います。それでは、次に青梅宿津雲邸のご報告をお願いします。
委員	青梅宿関連の報告をさせていただきます。津雲邸ですが、春は雛祭り、それから秋にかけ

	<p>ては幕末や明治維新の展示を2回に分けて開催しました。それから映画看板についてです。マスコミで大きく取り上げられましたが、久保板観さんが亡くなられた事で、新たな看板の設置が出来なくなり、また老朽化した看板の修復も出来ない所以对応を検討している所に、台風24号の影響で破損した看板が出てしまったので、安全を考慮し10月19日に撤去しました。ただし、昭和レトロ博物館や赤塚不二夫会館のように、所有者と設置場所が同じ看板はそのまま残っており、撤去したのは商店へ設置させていただいた看板のみです。また、8年前に青梅商工会議所が明星大学の学生に描いていただいた看板があるのですが、そちらも看板が設置された各店舗の判断で撤去していただく事になっています。今後についてですが、昭和レトロの青梅宿は継続しますが映画看板はありませんので、昭和レトロの街というのは他と比べると異空間なのではという発想から、この異空間を猫に象徴させ、猫をテーマにした事業の検討を行っています。11月17日、18日には青梅宿アートフェスティバスが開催されるのですが、そのなかで猫事業のプレのようなものの開催を予定しています。皆様にはポスターの掲示などご協力いただく事になると思いますので、その際にはよろしくお願ひします。</p>
議長	<p>猫はすでに、所々に登場しています。興味を持っている方もいらっしゃるかと思いますので、良い事業になる事をご祈念申し上げます。次に、その他を事務局より報告をお願いします。</p>
事務局	<p>国交省のガイドラインにアキテンが不動産の取り組みが掲載されました。現在の取り組みが、内閣府や経産省以外の省庁にも認知されている事を情報共有のためご報告させていただきました。来月には東京都商店街グランプリが開催されます。昨年度は野寄社長が登壇されましたが、今回は國廣タウンマネージャーが登壇されますので、チラシを配布させていただきました。</p>
議長	<p>國廣さんのお名前も出ましたので、このままタウンマネージャー報告をお願いします。</p>
オブザーバー	<p>認定後の、青梅市の中心市街地活性化方針という事でお話させていただきます。これまでに青梅では様々な取り組みを行ってきましたが、まち再生を成功させる3つの重要な組立ては、しくみづくり、イメージづくり、エリアマネジメントを大きな柱にしています。今までのまちづくりにおいては、空き店舗対策などの仕組み作りの単体であったが、まちづくり会社を作り、おうめマルシェを開催する事で、イメージづくり並びに情報発信を強化する事で、多くの若者に開業した街として注目していただき、その結果、エリアマネジメントが可能な状況になりました。開業希望者が少なければ私達は選ぶ事は出来ませんが、多くの若者に街の魅力や情報を届ける事で、私達が地域の活性化に貢献してくれそうな開業希望者を選べるようになってきます。この3つの柱をたった6年間で作り上げる事ができた事が、青梅が全国から注目されようになった要因だと考えています。2013年以降の新規開業数ですが、基本計画に位置付けたエリアより若干広いエリアでのカウントになりますが、現在までに72件になります。反対に、廃業数は51件で、それぞれの推移は</p>

資料の通りです。2015、6年は開業数も多かったですが、廃業数も多く、地元の方にとってはどうしても廃業のインパクトの方が強く、衰退していると感じている方が多かった印象でした。しかし、2017年に入ってから大幅に純増となり、今年度も順調に開業実績が挙がっていますので、このまま地道に進めていきたいと思っています。次に開業と廃業の業態ですが、廃業の半分は物販の店舗となっています。開業については、アトリエやカフェにギャラリーやコミュニティスペースを併設したお店、ライブスペースを併設した飲食店など複合的なものが増えてきています。実際には飲食店での開業を希望する方が多いのですが、設備的に利用可能な店舗が少なく、伸び辛いのが現状です。中心市街地活性化の波及効果ですが、東青梅などの東側は個性の乏しい賃貸として出ている物件が多くあったので、私たちは戦略的に西側の古い物件の開拓を行い、また公共施設の移設やおうめマルシェによる毎月の街の情報発信など、様々な状況や情報がかみ合った結果だと思っています。常々話している事ですが、まち会社を設立した直前の年に駅前スーパーが撤退し、それを手当てするために、空き店舗対策よりマルシェを立ち上げた事が、後々の大きな効果になってきたと感じています。実際、おうめマルシェ実行委員会の中心にいる3人は、皆、市街地に拠点を持つ事になりました。最初はちゃんちき堂でした。私がタウンマネージャーに着任し中心市街地の活性化に関わるようになってから、シフォンケーキの製造拠点を駅前に写し、その後はレンタルカフェころん、青梅シネマという2つのスペースをオープンさせています。次にマルシェの立ち上げから関わっていただいている武藤治作酒店です。マルシェ出店の経験から、単価の高いクラフトビールが多く売れる事に気付き、ビジネスの手ごたえを感じ、まち会社がサブリースする物件でクラフトビールのバーを出店しました。最後に有機農家の柳川ファームです。この3人が様々な事業で連携する事も多く、青梅シネマの1階に、オフィスと直売所を開設する予定です。ちなみにこの直売所の横には、五日市にお住いの鍼灸師の方が開業する予定になっています。このように実力のある方々が中心市街地に移ってこられたのも取組の効果の1つと考えています。また現在も開業に向け準備が進められている店舗があります。まずコマゲンの横の店舗ですが、立川に住まわれている画家の方が、地域に開かれたアトリエを作りたいとの事で、クラウドファンด์を活用しながら開業に向け準備をしています。次の店舗はアキテンポ不動産で長年交渉し、ようやく賃貸に承諾いただけた物件なのですが、まち会社のウェブ制作でお世話になっているEMDesignという青梅に移住されてきたウェブデザインの事務所です。先と同様に地域に開かれたオフィスという事で、現在改修工事が行われています。またその他の状況ですが、先程の情報提供させていただきましたが、OMECITTAプロジェクトという事で、フランス人写真家が青梅の街なかを映像に収めているのですが、10月にはエルメス銀座店で、写真の展示と映像の上映会が行われました。また織物組合の活動グループ、織区123ですが、3回目となるORIC祭を開催しています。こちらのグループは、最初に少し協力をただけで、以降は自主的に活動に取り組まれています。織物の展示の他、今年は市内の小学校と協力し、蚕を育てた記録の展示や、子供たちが考えた青梅夜具時のデザインを展示などされていました。地元の作家さんの参加も増えているようで、青梅ブループロジェクトの影響もあり、ブルーのテキスタイルの作品が多く並んでいました。展示エリアの外では、おうめマルシェに参加されている方が出店さ

れ、飲食の提供が行われていました。そんな中、中心市街地が置かれている環境は厳しくなっており、時間貸駐車場の利用台数は下げ止まらない状況になっていましたが、先程社長からもご報告がありました通り駅前と本町の駐車場の管理会社と運営を変更した事で、目視レベルではありますが、確実に利用台数は増えています。料金体系も変更になっている事から、売上にどれだけの影響があるか分かっていませんが、過去には、夜間の利用が1台や2台といった日もあったので、良い傾向にあると感じています。同様に市街地の機能も改善が必要になってきています。子育て世代の滞在を快適にする対策として、駅前のアキテポギャラリーには授乳室を備えていますが、簡単なお世話しかできません。調布市の例ですが、行政とNPOが協力し、子育て世代がゆっくりと過ごせるオシャレなカフェを運営しています。また、隣では一時預りのサービスなども行っており、買物へ行く、ママ友とゆっくりお茶をするなどの機会を提供しています。また、兵庫県の例では、多世代型で滞在時間の拡充を目的に、介護付きのシェアハウスの中の共有スペースに、子供を預けその隣で作業するといった事を行っています。また、再開発でも公共施設に入っただけのお話をしている中で、地権者からは図書館を要望していますが、磐田市では図書館と子育て支援施設を融合させた、子育てと教育の両方を行う施設を運営しています。こういった子育て世代に目を向けていく事は、街を強くする一つの要因になってくると思っています。例からしますとハードばかりに目が行ってしまいましたが、赤ちゃんや子供の預かりサービスなどソフト事業としても可能性はあると思います。今回のお話で、子育て世代に目を向けたお話をしたのは、市政を運営するという上で、大きな企業を誘致や、外からの投資は必要なことだと思いますが、外部の企業は優遇措置や利回りにしか興味がありません。地元で投資ができる人というのは、経営感覚に優れて道理的な判断ができる経営者でなく、青梅で生まれ育って、青梅が好きなお方だけです。そういった事から、今後のまちづくりにおいては教育が重要で、地域で生まれ育った人しか地域に投資しないという事を前提に、地域の中で事業を提案するといった事を若い時代に経験させる事が大切になってくると思います。最後に、まちつく青梅の状況を中心にお話していきます。まず、クラフトビールの青梅麦酒が4月にオープンしました。客単価を高める事を目的に月に1回イベントを設定しコース料理を提供しているのですが、イベントの日は周辺の飲食店に流れる方が多く、波及効果も出ています。また、まち会社でアルバイトしている子がそのノウハウを活かし、イベントの準備や情報発信を行っており、そういった面からもまち会社が支援できています。また市街地の定住基盤だけでは商業環境を維持する事が難しいと言われていきますので、少しずつですが、アウトドア等で周辺にいらしている方の集客に取り組んでいます。サイクルハーバー、トレランイベント、また整備中ですが青梅時間というブックカフェと民泊施設、そして本丸の釜の淵の水泳場。公共施設の再編が行われている中、未だ具体的な話は出来ないのですが、9月には協議会主催で、釜の淵の内覧と今まで検討してきた内容を、地域のアウトドア事業者に聞いていただくイベントを行いました。積極的な参加意思があり、注目度の高さを改めて感じました。またこの内覧会を経て、今後まち会社で行うべき事をまとめました。①アウトドアメーカーとの提携開発にむけた提案営業、②青梅市の既往アウトドア事業者とのソフト事業を企画、③主要株主や、民都機構などとの増資、会社設立検討、です。こういった事を頭に入れ、すこしずつ具体化に向

	<p>け準備していきたいと思います。それから、青梅時間です。インバウンドを兼ねた街なか週末観光のPRができるブックカフェとしてリノベーションしており、また同時に外国人向けの街歩きツアーの準備も行っています。また裏の民泊施設ですが、このブックカフェと一緒に12月のアキテポ不動産で賃貸者を募集する予定です。なお青梅時間のプロジェクトは、儲けるという事ではなく、青梅の魅力を発信できる事業者を集めると共に、青梅でも事業が成り立つといった根拠になっていけばと思っています。最後になりますが、地域再生でこれから必要なことをまとめました。①ハード事業に対する投資の地域文化性の確保、②将来の地域人材育成をめざした、地域の起業教育・文化教育、③地域内での経済あるいは人脈の循環づくりを実践し、次世代が圧倒的に住みたいモデル都市を目指していければと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございました。地域で生まれ育った人しか地域に投資しないというのは、言い得て妙ですね。大変興味深いご報告がいただけたかと思ひますし、また勇気が出て来る内容であったと思ひます。ただ今の報告を受け、ご質問等はございますか。それでは、最後の報告事項、青梅市中心市街地活性化基本計画（変更案）について、報告をお願いします。</p>
青梅市	<p>今回の変更については、平成29年度のフォローアップ報告を内閣府にした際に、事業の進捗状況に合わせ、計画に反映すよう指示があったことから、実施するものです。まず青梅駅前地区市街地再開発事業にかかる地籍整備事業についてです。本事業は、市街地再開発事業を実施するにあたり、平成29年度に地籍測量を実施したことから追加したものです。次に空店舗活性化事業についてです。本事業は、空店舗を活用した地域コミュニティスペースの運営支援として実施したものです。運営自体は継続していますが、事業主体の変更と運営支援期間の変更があったため、反映するものです。その他、空店舗を活用した子育て支援施設の運営事業、市民劇場事業、アートプログラム事業の3事業については、事業完了による事業期間の変更を行うものです。</p>
オブザーバー	<p>新元気を出せ商店街事業は、支援措置として無くなったという事でしょうか。</p>
青梅市	<p>こちらの支援事業自体は残っています。</p>
オブザーバー	<p>アートプログラム青梅についてですが、実施主体は変わりますがアートビューイングという事業も新たに開始されています。そういった事は反映されないのでしょうか。</p>
青梅市	<p>アートビューイングは美術館との関連もある事から、青梅市まるごとアート支援事業に含まれるという認識でいます。</p>
議長	<p>ありがとうございます。何か質問等ございますか。難しいところもございますが、各事業は前進しているとご理解をいただければと思います。それでは、協議事項に移ります。では、青梅市中心市街地活性化基本計画（変更案）に対する意見書（案）についてご説明を</p>

	<p>お願いします。</p>
事務局	<p>先程、青梅市より説明がありました基本計画の変更についてですが、変更にはこの協議会からの意見書が必要になります。なお、今回の変更内容についてですが、事業の進捗に合わせるものや事業の再編に伴う変更となるので、事務局としては特に問題は無いと考えています。</p>
議長	<p>皆様、いかがでしょうか。今回の変更については、問題無いとの判断でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。では、今回の変更は特段の問題は無いとの意見としてまとめさせていただきます。</p>
議長	<p>以上で協議事項は終了とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
司会	<p>次回開催予定日ですが、平成31年4月を予定しています。内容としては、平成30年度の決算と事業報告、平成31年度予算と事業計画について協議いただく予定です。詳細については改めてご案内させていただきますので、よろしくお願いします。最後になりますが閉会のご挨拶を池田副会長よりお願いします。</p>
副会長	<p>皆様、本日はありがとうございました。基本計画に変更については、妥当というご意見をいただきありがとうございました。報告を聞き、映画看板が無くなった寂しさ以上に、新たな出店や仕掛けなどにより中心市街地が元気になっていると感じています。このままのペースで進める事が出来れば、掲げた目標値の達成も可能だと思っていますので、今後も皆様にご協力を頂き、中心市街地の活性化に努めてまいりますので、引き続きよろしくお願いします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、第16回青梅市中心市街地活性化協議会を終了します。皆様、お疲れ様でした。</p>